令和８年度

第２回　浜松市立豊岡小学校
学校運営協議会

令和８年９月１８日（金）

５月７日（木）
全校遠足

５月２３日（土）
運動会

浜 松 市 立 豊 岡 小 学 校

日　程

◇　日程説明　　13:00～　　≪相談室≫

◇　授業参観　　13:05～13:50　　≪各教室≫

◇　運営協議会　13:55～15:15　　≪相談室≫

１　開催要件の確認

２　会長挨拶

３　校長挨拶

４　議長の選出

５　前回会議録確認

６　熟議

（1）　学校評価アンケートについて

（2）　学校、家庭、地域の役割分担について

７　連絡

（1）　次回以降の開催日時

第３回　１１月２７日（金）　１３：１５～１５：３０

第４回　　２月　５日（金）　１３：００～１５：３０

（2）　学校支援コーディネーターより

参 加 者

〔学校運営協議会委員〕（ 敬称略 ）

中川　秀三　　疋田　和俊　　鈴木登志郎　　大津　和也　　細川健太郎
相曽　司　　野末のぞみ　　夏目　悦子　　井上　麦

〔オブザーバー〕（ 敬称略 ）

学校支援コーディネーター　山田万祐子　　奥田　真理
三方原協働センター　夏目　聖

〔浜松市教育委員会〕

学校・地域連携課　清水　悠

〔学　　校〕

泉澤　伸広　　松井　康子　　池谷　崇仁　　宮﨑　祐実

Memo

令和８年度　第１回　豊岡小学校運営協議会　会議録（要点記録）

1　開催日時　令和８年５月 14 日（木）14 時 10 分から 15 時 30 分まで
2　開催場所　豊岡小学校　相談室
3　出席委員　中川秀三、疋田和俊、大津和也、細川健太郎、相曽司、野末のぞみ
　　夏目悦子
4　欠席委員　鈴木登志郎　井上麦
5　オブザーバー　夏目聖（三方原協働センター）
6　学校支援コーディネーター　奥田真理
7　学　　校　泉澤伸広（校長）、松井康子（教頭）、池谷崇仁（主幹教諭）、
　　宮﨑祐実（ＣＳディレクター）
8　傍聴者　なし
9　会議録作成者　ＣＳディレクター宮﨑祐実
10　副会長の指名
　司会から副会長の指名について会長に意見を求めたところ、疋田委員を副会長に指名する旨の報告があった。
11　議長の選出
　司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、細川委員が立候補し、全員異議なくこれを承認した。
12　協議事項
(1)　学校運営の基本方針について
(2)　学校運営協議会の自己評価の確認
(3)　夢育やらまいか事業に対する意見書(案)について
13　会議記録
　司会の教頭から、委員総数９人のうち７人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)　学校運営の基本方針について
　議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
・ソーシャルスキルトレーニングは子供たちの反応も良く、ゲーム感覚でできるところがよいと思った。（細川委員）
・具体的な取組があってよい。学校運営も学年に応じて対応していただきたい。ソーシャルスキルトレーニングやエンカウンターなどを行い、いじめ防止につなげてほしい。（疋田委員）
・今、良くなっている学校の流れを今後も継続できるように努力してほしい。（大津委員）

(2)　学校運営協議会の自己評価の確認
　議長の指示により、教頭から、学校運営協議会の自己目標の確認があった。（前回承認済み）

(3)　夢育やらまいか事業に対する意見書(案)について
　議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書（案）の説明があり、委員から、以下の発言があった。
・学校運営協議会の自己目標と合致しているし、これまで継続的に実施している活動

であるので、よいと思う。子供たちの成長や学習に役立ててほしい。（大津委員）
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

池谷主幹と学校支援コーディネーター兼委員の野末委員から、５月７日実施の遠足におけるボランティアの実績報告があった。予定していた５月１日が雨天のため予備日に延期しての実施となったが、32 名のボランティアの参加があった。参加者からの感想と次年度への課題について別紙資料に基づき報告があった。

また、司会の教頭から、次回会議は９月 18 日金曜日 13 時 15 分から授業参観を実施し、14 時 10 分から豊岡小相談室で第２回協議会を開催する旨の報告があった。

令和８年度豊岡小学校評価アンケートについて

Ｒ９．９．18

１　ねらい

教職員と児童、保護者、地域の人々が学校教育目標を基にした教育活動や学校運営に対して、その達成状況や取組の適切さについて評価することにより、学校として、組織的・継続的な改善を図る。

学校評価の結果を報告や公表を行うことによって、学校の全ての関係者と課題を共有できるとともに、学校運営への参画意識を共に高め合いながら、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

２　実施対象及び方法

・全児童…Google Forms
・保護者、学校運営協議会委員…さくら連絡網アンケートシステム
・教職員…校務支援システム

３　実施スケジュール

実施日	実施内容
10/26(月)～11/2(月)	学校評価アンケート実施（対象：児童、保護者、学校運営協議会委員、教職員）
11/3(火)～11/10(火)	学校評価アンケート集計
	教育課程アンケート実施（対象：教職員）
11/27(金)	第３回学校運営協議会 ・アンケート集計結果報告
12/2(水)～1/20(水)	Ｒ９教育課程について学校職員で協議 ・期間中、全体会を３回、部長会を３回、部会を３回実施
1/21(木)～2/12(金)	学校職員でＲ９教育計画冊子作成
2/5(金)	第４回学校運営協議会 ・Ｒ９の教育活動及び教育構想の承認

４　内容

・質問項目及び質問内容は、Ｒ７と同様とする。
・回答の選択肢は、５段階とする。（そう思う、だいたいそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、わからない）

（１）学校評価アンケート

【知】「楽しい学びと確かな学力」

1子供に力をつける・興味・関心・キャリア形成に応じた個別最適な学び	１・２年	わたしは、すすんでべんきょうしている。
	３～６年	わたしは、進んで勉強に取り組んでいる。
	保護者	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。
	教職員	児童が主体的に学習に取り組めるように授業準備をしている。
2子供に力をつける・対話の力を育て、多様な他者との協働的な学び	１・２年	わたしは、じぶんのかんがえを　はっきりとはなしている。
	３～６年	わたしは、相手に分かるように自分の考えを伝えている。
	保護者	お子さんは、相手に分かるように自分の考えを伝えている。
	教職員	児童が子供同士や地域の方等と話し合う場面を設定している。
3子供に力をつける・情報活用能力の育成	１・２年	わたしは、学校やいえでタブレットをつかうときにやくそくをまもっている。
	３～６年	わたしは、学校や家庭の中でＩＣＴ機器（タブレット端末等）を使うとき、情報モラルやマナーを守っている。
	保護者	お子さんは、学校や家庭の中でＩＣＴ機器（タブレット端末等）を使うとき、情報モラルやマナーを守っている。
	教職員	日々の授業の中で、児童に情報モラルやマナーを身につけさせる指導を行っている。
4子供に力をつける・情報活用能力の育成	１・２年	わたしは、学校やいえでべんきょうするときにタブレットをつかっている。
	３～６年	わたしは、ＩＣＴ機器（タブレット端末等）を学校や家庭で学習するときに活用している。
	保護者	お子さんは、ＩＣＴ機器（タブレット端末等）を学校や家庭で学習するときに活用している。
	教職員	児童の情報活用能力の育成を意識して、授業や家庭学習でＩＣＴ機

		器（タブレット端末等）を活用する課題等を出している。
5 教師に力をつける	１・２年	わたしは、せんせいのじゅぎょうがわかる。
	３～６年	わたしは、授業の内容が分かる。
	保護者	お子さんは、授業の内容が理解できている。
	教職員	児童が授業内容の理解が高まるように、児童の実態に合わせて、発問・授業構想等の授業改善をしている。

【徳】「豊かな心としなやかさ」

6 相手の気持ちを思いやるあたたかい集団	１・２年	わたしは、ともだちにやさしいことばをつかっている。
	３～６年	わたしは、友達に優しい言葉を選んで使っている。
	保護者	お子さんは、相手のことを考えながら言葉を選択して使用している。
	教職員	児童一人一人に目を向け、どの子にも居場所がある学級（学校）づくりをしている。
7 相手の気持ちを思いやるあたたかい集団	１・２年	わたしは、すすんであいさつしている。
	３～６年	わたしは、学校・地域・家庭の中で、進んで挨拶を行っている。
	保護者	お子さんは、場所に合わせた挨拶の習慣ができている。
	教職員	進んで挨拶できる児童を育成するため、教師が進んで挨拶をしたり、挨拶の大切さを教えたりしている。
8 目標に向かって困難を乗り越える力	１・２年	わたしは、きめたもくひょうにむかってがんばっている。
	３～６年	わたしは、決めた目標に向かってねばり強く取り組んでいる。
	保護者	お子さんは、決めた目標に向かってねばり強く取り組んでいる。
	教職員	児童の立てた目標を常に意識できるように手立てを考えたり、励ましたりしている。
9 目標に向かって困難を乗り越える力	１・２年	わたしは、べんきょうやあそびで、ともだちとちからをあわせている。
	３～６年	わたしは、授業や行事などの活動で友達と力を合わせ、よりよい答えやよりよい結果を目指している。
	保護者	お子さんは、友達との協働的な活動により、よりよい答えやよりよい結果を目指している。
	教職員	児童が協力することの大切さを理解するため、協働的な学びや活動の場を設定したり、活動内容を工夫したりしている。

【体】「たくましい心と健やかな体」

10 運動習慣の確立・体力づくり	１・２年	わたしは、「はやね・はやおき・あさごはん」のやくそくをまもっている。
	３～６年	わたしは、健康を意識した生活（早寝・早起き・朝ごはん等）を行っている。
	保護者	お子さんは、健康を意識した生活（早寝・早起き・朝ごはん等）を実践している。
	教職員	児童が健康を意識した生活（早寝・早起き・朝ごはん等）を実践できるように、手立てを行ったり、声を掛けたりしている。
11 運動習慣の確立・体力づくり	１・２年	わたしは、すすんでうんどうをしたり、そとであそんだりしている。
	３～６年	わたしは、体力を高めるために進んで運動を行っている。
	保護者	お子さんは、自己の体力を高めるために進んで運動を行っている。
	教職員	児童の体力向上のため、運動の楽しさを感じられる授業を行ったり、外遊びを推奨したりしている。
12 自分の命も他人の命も大切にする	１・２年	わたしは、じぶんのよいところをしっている。
	３～６年	わたしは、自分のよさを知っている。
	保護者	お子さんは、自分の長所やよさを生かそうとしている。
	教職員	児童の自己肯定感が高められるような取組をしたり、良いところを進んで褒めたりしている。
13 自分の命も他人の命も大切にする	１・２年	わたしは、やくそくをまもってあんぜんにせいかつしている。
	３～６年	わたしは、ルールを守って安全に生活している。
	保護者	お子さんは、ルールを守って安全に生活している。
	教職員	児童がルールを意識して安全に生活できるように、児童の発達段階に合った指導をしている。

【その他の項目】

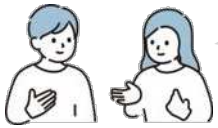
14 豊岡小そのもの	１・２年	わたしは、とよおか小学校がすきだ。
	３～６年	わたしは、豊岡小学校が好きだ。
	保護者	わたしは、豊岡小学校に子供を通わせることに満足している。
	教職員	豊岡小学校が魅力的で楽しい学校になるように努力している。

（２）教育課程アンケート

部会名	内容	設問
教務部	授業日数・時数 日課 学校行事 あゆみ・・・	○特に成果のあった教育活動及び来年度も継続したい活動等について、御意見があれば入力してください。
		▲課題や改善の必要な教育活動等について、御意見があれば入力してください。
学習指導部	各教科指導 道徳 総合的な学習 情報教育・・・	○特に成果のあった教育活動及び来年度も継続したい活動等について、御意見があれば入力してください。
		▲課題や改善の必要な教育活動等について、御意見があれば入力してください。
心育成部	特別活動 児童会活動 生徒指導 発達支援教育 キャリア教育 人権教育・・・	○特に成果のあった教育活動及び来年度も継続したい活動等について、御意見があれば入力してください。
		▲課題や改善の必要な教育活動等について、御意見があれば入力してください。
健康安全部	防災・防犯教育 交通安全 保健指導 清掃活動・・・	○特に成果のあった教育活動及び来年度も継続したい活動等について、御意見があれば入力してください。
		▲課題や改善の必要な教育活動等について、御意見があれば入力してください。
その他	家庭・地域連携 ボランティア・人材活用 保幼小中連携 ＰＴＡ活動 教職員の働き方改革・・・	○特に成果のあった教育活動及び来年度も継続したい活動等について、御意見があれば入力してください。
		▲課題や改善の必要な教育活動等について、御意見があれば入力してください。

学校と教師の業務の３分類

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。



まず取り組めること・取り組むべきことは何か、話し合うことが大切です。

学校以外が担うべき業務

1. 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
2. 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
3. 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
4. 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
5. 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

6. **調査・統計等への回答**｜学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
7. **学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理**｜学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
8. **ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理**｜教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
9. **学校プールや体育館等の施設・設備の管理**｜教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
10. **校舎の開錠・施錠**｜副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
11. **児童生徒の休み時間における安全への配慮**｜地域住民等の支援や、輪番等を促進
12. **校内清掃**｜児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
13. **部活動**｜部活動の地域展開・地域連携を推進

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

14. **給食の時間における対応**｜食に関する指導については、栄養教諭等が対応
15. **授業準備**｜教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
16. **学習評価や成績処理**｜採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
17. **学校行事の準備・運営**｜関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
18. **進路指導の準備**｜就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
19. **支援が必要な児童生徒・家庭への対応**｜専門スタッフとの協働等を促進

※専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

浜松市教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画

~あかるく・いきいき・みりょくある 学校創造プラン~

概要版

令和８年3月策定

計画の目的

「価値ある学校」の創造

▲

教育の質の向上

▲

教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの充実
教職員が心身ともに健康的に教育活動に従事



指標・目標

・年次休暇年間取得日数	15日
・時間外月45時間超教員	０人
・時間外年360時間超教員	０人
・総合健康リスク	80未満
・高ストレス者の割合	５％未満
・ワークエンゲージメントの指標*	５Pt以上



＊３つの設問に対しそれぞれ７段階《毎日感じる(6pt)～全くない(0pt)》で回答
「5.0pt」は各設問に対し「1週間に数回感じる」状態

３つの柱に基づく56の取組

Ⅰ 教職員が働きがいと働きやすさを感じる学校づくり

(１)家庭・地域への理解促進

①家庭・地域に対する働き方改革の周知啓発

(２)教育DXの推進

①勤務服務・諸手当のシステム化検討
②備品管理システムによる管理の効率化
③デジタルを活用した問題行動対策やいじめ対策の強化
④統合型校務支援システムの運用
⑤タブレット型端末のロケーションフリー化
⑥生成AIの効果的な活用
⑦就学援助申請のオンライン化
⑧学校給食費等Web口座振替受付サービスの導入・運用
⑨自動採点システムの導入
⑩各種報告書等の文書作成の自動化、効率化の検討

(３)学校・教職員への過剰な要求への対応強化

①浜松市カスタマーハラスメント対策基本方針に基づいた対応
②スクールロイヤーの配置
③学校問題解決に向けた体制強化
④学校電話機への通話録音、非通知拒否機能等の追加

(４)チーム学校の実現に向けた体制整備

①多様な支援員、補助員の配置
②校務アシスタントの配置
③スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置・派遣
④部活動指導員の配置
⑤教頭アシスタントの配置
⑥若手教職員のサポート体制の構築

(５)負担軽減・業務の効率化の推進

①勤務時間を意識した登下校時間等の見直し
②勤務時間外における電話の自動音声応答
③連絡アプリを活用した効果的・効率的な情報収集と発信
④多様な研修機会・形態の設定
⑤学校に対する調査・照会等の見直しと精選
⑥学校等への配布物の削減
⑦各種団体事務及び連絡調整体制の見直し
⑧学校事務の効率化・適正化による学校運営への参画促進
⑨学校給食費、学校徴収金に係る事務・徴収管理の見直し
⑩学校業務に関するマニュアル等の整備

(６)学校施設等に係る管理の負担軽減

①学校プール施設・設備管理の負担軽減
②学校施設の施錠形態スマート化
③ICT機器等の保守・管理委託化
④学校施設における維持管理手法の検討
⑤学校開放事業のスマート化

(７)柔軟な教育課程の編成や指導体制の充実

①柔軟な教育課程の編成・実施に向けた検証
②はままつ式30人学級編成の実施
③小学校における教科担任制の拡充
④チーム担任制の検証



Ⅱ 教職員の心身の健康保持増進

(１)安全衛生管理の徹底

①健康診断・ストレスチェックの実施と分析
②セルフケア意識向上に向けた研修の実施
③公務災害の防止
④安全衛生管理体制の強化

(２)柔軟な働き方と休暇取得の促進

①年次休暇等の取得促進
②男性育児休業の取得促進
③長期休業期間における学校閉庁日の実施
④産休・育休等代替職員の適切な配置
⑤時差勤務・在宅勤務の環境整備



(３)相談体制の充実

①産業医等による面接指導
②多様な相談窓口の周知

Ⅲ 多様な人材・主体との連携・協働

(１)多様な人材・主体との連携・協働

①学校運営協議会を活用した地域と学校の連携促進
②地域学校協働活動による学校支援
③はままつ人づくりネットワークセンターの充実
④保護者・地域・関係機関と連携した登下校の安全確保

(２)部活動の地域展開の推進

①部活動の地域展開の推進

